

平成29年5月25日

各報道機関 様

次のとおり資料提供しますのでよろしく申し上げます。

行事等		空知の次世代食育リーダー育成事業
行 事 等		平成29年度空知の次世代食育リーダー育成事業に係る事業計画と講義の開催について
日 時		講義Ⅰ：平成29年6月 8日（木）15：50～16：50 講義Ⅱ：平成29年6月15日（木）15：30～16：50
場 所		岩見沢農業高等学校視聴覚室（岩見沢市並木町1-5）
出 席 者		岩見沢農業高等学校食品科学科生徒、教諭 空知総合振興局農務課
内 容		<p>空知総合振興局では、岩見沢農業高校の生徒が取り組む食育活動が、地域農業の魅力発信に効果的と考え、高校生が将来、空知の農業や食に精通した次世代の食育リーダーとなることを目指し、別添計画書のとおり事業を実施します。</p> <p>このたび、本事業の第1回目の取組として、別添開催要領に基づき、講義を開催します。</p> <p>○添付資料 平成29年度事業計画書、開催要領</p> <p>○関連事業 空知の次世代食育リーダー育成事業（地域政策推進事業）</p>
参 考 （経緯など）		<p>空知総合振興局では、平成26～27年度に「地域に根ざした食育推進事業（局独自事業）」として管内高校生の食育活動を支援しました。</p> <p>28年度からは、北海道岩見沢農業高等学校食関連学科の生徒がこれまで取り組んできた食育活動をより発展させ、グリーン・ツーリズム（農村滞在型農業体験）を通じて行う食育活動を地域の魅力発信のモデル的取組として支援・推進しています。</p>
取材（報道）にあたってのお願い		高校生が取り組む地域に根ざした食育活動が広く周知されるよう、今回の講義をはじめ、年間を通じた取組を継続的に取材して下さるようお願いいたします。
担 当		空知総合振興局 産業振興部 農務課 食品政策係 井口、安部 （電話 0126-20-0082）

空知の次世代食育リーダー育成事業 平成29年度事業計画

【目的・概要等】

人々の中で「農業観」が薄れていく中、「食」に対する意識は高まっている。「食」の源である農業を基幹産業とする空知地域で、グリーン・ツーリズム（農村滞在型農業体験）を実践する食育の取組を支援することにより、健全な「農業観」を育み、空知の農業・食に精通した次世代の食育リーダーを育成し、食の魅力を空知管内外に発信する。

【事業概要】

1 経緯等

空知は、農業産出額全道一位の米を中心に、野菜・果樹など多様な農作物の生産が盛んな地域であり、札幌と旭川の都市圏の間に位置していることから、地産地消に取り組むレストランや宿が多くあり、農業体験を受け入れる農業者もいるなど、グリーン・ツーリズムに取り組む上で好適地である。

このような状況において、農業高校生による農村滞在型農業体験を組み入れた食育活動を支援することにより、空知特有の好条件を活かし地域内外への空知農業の魅力発信を推進する。

2 事業の必要性

岩見沢農業高校では、24年度から、地域関係者と関わりを持ちながら、稲作体験を軸に一年を通した多様な食育プログラムに取り組んでいる。28年度からは、高校生が農家に滞在して農作業を体験し、その体験を踏まえ小学生を対象に農村滞在型農業体験を取り入れた食育を実践している。

振興局ではその活動を継続的に支援し、地域農業の魅力を空知をはじめ周辺地域に発信する次世代の食育リーダーの育成を推進する。

事業の実施により、空知の食に関心を持つ来訪者の増加や新たに就農する者の増加などが期待され、地域の食の活性化・発展につながる。

3 事業の概要（予定）

高校生が、地域の農家で農作業体験をした上で小学生を対象とした農村滞在型農業体験による食育に取り組む事により、地域の農業の魅力が発信されるよう、モデル的取組として高校生の食育を支援・推進する。

日程	行事名	場所	講師	概要
H29.6.8	講義Ⅰ 農業・農村の魅力 について	岩見沢 農業高校	JA 空知青年部	・農村ホームステイで感じたこと ・高校生に伝えたい農業農村の魅力
H29.6.15	講義Ⅱ 子どもたちへの 食育活動について	岩見沢 農業高校	NPO 北海道食の自給ネットワーク 事務局長 大熊 久美子 氏	・効果的な食育指導の方法 ・子どもたちの反応 ・高校生に伝えたいこと
H29.7	地域懇談・勉強会 高校生のグリーン ・ツーリズム	栗山町 他	空知管内農家 栗山町ネイチャーガイド	高校生による1泊2日農業体験 (高校生24名程度) ・農作業体験、農業者との懇談 ・自然体験学習
H29.9.16 ～ H29.9.17	岩農食農塾との グリーン・ ツーリズム	岩見沢市 長沼町	岩見沢市内農家 長沼町内農家 農業関係者	小学生と高校生の1泊2日農業体験 (小学生+高校生40名程度) ・農業施設、農家ほ場見学 ・地域農産物調理体験、宿泊学習 ・農作業体験
H30.1	食育フォーラム	空知総合 振興局	・高校生による取組発表 ・グリーン・ツーリズム実践者による基調講演 ・食育実践者による食育講座 (参集：一般市民など約100名)	

4 事業期間

平成28年度～30年度

平成29年度 空知の次世代食育リーダー育成事業
講義Ⅰ～農業・農村の魅力について～
開催要領

1 目的

岩見沢農業高等学校の生徒がこれまで実践してきた小学生対象の食育プログラムは、地域農業の魅力発信に繋がる効果的な取組である。

今年度は、高校生が地域農業者と連携して、農村滞在型農業体験（グリーン・ツーリズム）を通じた食育活動に取り組み、地域の食の魅力を周辺地域へ発信できる将来の食育リーダーとなることを目指し、講義を開催する。

2 主催 北海道岩見沢農業高等学校、北海道空知総合振興局

3 日時 平成29年6月8日（木）15:50～16:50

4 場所 北海道岩見沢農業高等学校視聴覚室（岩見沢市並木町1-5）

5 参加者 北海道岩見沢農業高等学校食品科学科生徒

6 講師 JA空知青年部連合会 会長理事 神尾 誠 氏
JAなんぼろ青年部 参与 森口 育民 氏
JAなんぼろ青年部 会計 米田 昌樹 氏
JAながぬま青年部 部長 三浦 悟 氏

7 内容

「農業・農村の魅力について」

グリーン・ツーリズムを通じた食育活動の効果を高めるため、「農村ホームステイ事業」に取り組む農業者等から、グリーン・ツーリズムがもたらす効果や農業農村の魅力について学ぶ。

【講師の紹介：JA 空知青年部連合会】

「農村ホームステイ事業」の一環で学校教諭の農業体験を受け入れるほか、食育活動にも積極的に取り組み、農業・農村の魅力を消費者に伝えている。

15:50～ 開会挨拶（空知総合振興局）

15:55～ 講義

16:40～ 質疑応答

16:50 閉会（岩見沢農業高等学校）

平成29年度 空知の次世代食育リーダー育成事業
講義Ⅱ～子どもたちへの食育活動について～
開催要領

1 目的

岩見沢農業高等学校の生徒がこれまで実践してきた小学生対象の食育プログラムは、地域農業の魅力発信に繋がる効果的な取組である。

今年度は、高校生が地域農業者と連携して、農村滞在型農業体験（グリーン・ツーリズム）を通じた食育活動に取り組み、地域の食の魅力を周辺地域へ発信できる将来の食育リーダーとなることを目指し、講義を開催する。

2 主催 北海道岩見沢農業高等学校、北海道空知総合振興局

3 日時 平成29年6月15日（木）15：30～16：50

4 場所 北海道岩見沢農業高等学校視聴覚室（岩見沢市並木町1-5）

5 参加者 北海道岩見沢農業高等学校食品科学科生徒

6 講師 NPO 北海道食の自給ネットワーク事務局長 大熊 久美子 氏

7 内容

「子どもたちへの食育活動について」

小学生への食育活動（岩農食農塾）に取り組むにあたり、食育の専門家から、小学生への効果的な食育指導の方法等について学ぶ。

【講師：大熊 久美子 氏】

NPO 北海道食の自給ネットワークの事務局長として、2004年から現在まで小学生を対象にした「食育講座」を毎年開催し、生産者と消費者の交流、フォーラムの開催など、食や農業に関わる活動を行なっている。2006年には『地域に根ざした食育 全国コンクール』で特別賞を受賞。

《主な役職》

NPO 北海道食の自給ネットワーク事務局長、北海道食育コーディネーター、北海道教育委員会生涯学習審議会審議委員、北のグリーン農産物表示制度審査会委員、北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会委員、農林水産省農業農村整備事業等補助事業の評価に関わる技術検討会委員、北海道有機農業協同組合理事、北海道らしい食づくり名人・伝承名人

15：30 開会挨拶（空知総合振興局）

15：35 講義

16：50 閉会（岩見沢農業高等学校）